



◆カール・ギュツラフ訳【約翰(ヨハネ)福音之傳】  
独人プロテスタント宣教師ギユツラフが訳した最古の日本語  
聖書。3人の日本人少年たち(船員14名中3名生存、①岩吉：  
推定28才、②久吉：同15才、③音吉：同14才)の手助けに  
よって完成した(1836年)。

- 1:1ハジマリニ **カシコイモノ**(言=イエス・キリスト=光)ゴザ  
ル、コノカシコイモノ **ゴクラク**(神)トモニゴザル、コノカシコイ  
**モノ**(イエス・キリスト)ワ **ゴクラク**(神)。
- 2.ハジマリニ **コノカシコイモノ**(イエス・キリスト) **ゴクラク**  
(神)トモニゴザル。
3. **ヒト**(イエス・キリスト)ワ **コトゴトク** ミナツクル、ヒトツモ  
シゴトワツクラヌ。ヒトワツクラヌナラバ。
- 4.ヒトノナカニ **イノチ**アル、コノイノチワ **ニンゲンノヒカリ**。
5. **コノヒカリ**ワ **クラサニカ**ヤク、タシワ **セカイノクライ**  
ニンゲンワ **カンベン**シラナシ。

※1833年 W・ミラー、属していたバプテスタ教会から、説教の許可証を受ける。

1:1 Ἐν ἀρχῇ ἦν ὁ λόγος καὶ ὁ λόγος ἦν πρὸς τὸν Θεόν καὶ Θεὸς ἦν ὁ λόγος

① Ἐν ἀρχῇ ἦν ὁ Λόγος  
In the beginning was the Word,  
初めに言があった。

② καὶ ὁ  
and the  
言は

Λόγος ἦν πρὸς τὸν  
Word was with  
神と共にあった。

Θεόν  
God,  
→ **דְּיָהוָה** **ēlôhîm**  
and

③ **コノカシコイモノ**  
**ゴクラク(神)**トモニゴザル

③ **コノカシコイモノ**  
**ゴクラク**。

③ Θεὸς ἦν ὁ Λόγος.  
God was the Word.

KJB : the Word was God.

言は神であった → 神は言であった。

① **ハジマリニ** **カシコイモノ**(言=イエス・キリスト=光)ゴザル

神は、「イエス・キリストを通して万物を創造された」

☞ Ephesians 3:9 【旧約＋新約】→創世記1:1 初めに、神はイエス・キリストによって天地の万物を創造された。

And to make all men see what is the fellowship of the mystery, which from the beginning of the world hath been hid in God, who created all things by Jesus Christ: (KJB)

それは、世の初めから神に隠されていた奥義がどのようなものであるかを、すべての人に明らかにするためである。神は、イエス・キリストによって万物を創造されたのである。

and to make all see what is the fellowship of the mystery, which from the beginning of the ages has been hidden in God who created all things through Jesus Christ; (NKJV)

そして、世の初めからイエス・キリストを通してすべてのものを創造された神の中に隠されていた神秘の交わりがどのようなものであるかをすべての人に理解させること。

☞ヘブライ人への手紙 1:2

この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました。神は、この御子を万物の相続者と定め、また、御子によって世界を創造されました。

聖書を聖書自身の注解書とする(W・ミラー)。



## 神の小羊 →ヨハネ1:29、36

ユダヤ人は、自分たちをローマから解放してくれるメシアを待望してしました。ヨハネによる福音書の目的は、メシアに対する彼らの理解を変え、来るべき王に関する預言の成就をイエスの内に認めるようにすることでした。メシアは地上の支配者にはなりません。イエスは、世のために自分を犠牲にされるところを含む、ご自身に関する旧約聖書の約束をすべて成就し、神と神の民の関係を新たにすために来られました。



## 真っ二つに切り裂くと契約の関係について

創世記	15:10 アブラムはそれらのものをみな持って来て、 <u>真っ二つに切り裂き</u> 、それぞれを互いに向かい合わせて置いた。ただ、鳥は切り裂かなかった。
エレミヤ書	34:18 わたしの契約を破り、わたしの前で自ら結んだ契約の言葉を履行しない者を、彼らが契約に際して <u>真っ二つに切り裂き</u> 、その間を通ったあの子牛のようにする。 34:19 ユダとエルサレムの貴族、役人、祭司、および国の民のすべてが <u>二つに切り裂いた子牛の間を通った</u> (→創世記 15:7~18)。
マタイ書	27:51 そのとき、神殿の垂れ幕が上から下まで <u>真っ二つに裂け</u> 、地震が起こり、岩が裂け、
マルコ書	15:38 すると、神殿の垂れ幕が上から下まで <u>真っ二つに裂けた</u> 。

二つに切り裂いた子牛の間を歩くという儀式によって契約が確認された(エレミヤ書 34:19)。もし「契約を破ったなら、この子牛のようになる」という意味であった。ヘブライ語では、「契約を結ぶ」ことを「契約を切る」と言った。

創世記 15:18 その日、主はアブラムと契約を結んで言われた In the same day the LORD made a covenant with Abram. 「あなたの子孫にこの土地を与える。エジプトの川から大河ユーフラテスに至るまで、

→**made** : **קָרַח** *kârath*, *kaw-rath'*; 切り取る (切り落とす、切り離す、ばらばらにする)。

このように「契約を結ぶ」(カーラット・ベリート)と訳された言葉の「結ぶ」は、文字通りには「切る」という意味です。ヘブライ語の「切る」(**קָרַח** *kârath*, *kaw-rath'*;カーラツス)ということは契約締結において動物を裂くことで、当事者たちは、「生死にかかわる結びつきにながれる」ことを意味しています。真っ二つに切り刻まれた動物たちはのろいをあらわし、契約(誓い)を破ることがあれば、のろいは自分に降りかかっても良いとする行為なのです。

サムエル記上	16:7 しかし、主はサムエルに言われた。「容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」
箴言	21:2 人間の道は自分の目に正しく見える。主は心の中を測られる。
エレミヤ書	9:7 彼らの舌は人を殺す矢／その口は欺いて語る。隣人に平和を約束していても／その心の中では、陥れようとたくらんでいる。
ゼカリヤ書	8:17 互いに心の中で悪をたくらむな。偽りの誓いをしようとするな。これらすべてのことをわたしは憎む」と／主は言われる。
マタイによる福音書	9:4 イエスは、彼らの考えを見抜いて言われた。「なぜ、心の中で悪いことを考えているのか。」
マタイによる福音書	13:19 だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。
ヨハネによる福音書	2:25 人間についてだれからも証してもらおう必要がなかったからである。イエスは、何が人間の心の中にあるかをよく知っておられたのである。